

Windows 版 Cisco Jabber 12.7 リリース ノート

初版 : 2019 年 9 月 9 日

最終更新 : 2021 年 10 月 10 日

Jabber エンドユーザのコンテンツ (Cisco Webex ヘルプセンター)

Jabber クライアントに関する情報は、<https://help.webex.com/ld-n1uv5wq-CiscoJabber/Jabber> から確認できます。ヘルプセンターには、Jabber 機能の使用に関する記事があります。ヘルプセンターを使用して、個々の記事に関するフィードバックを提供したり、新しい記事を要求したりすることができます。

ヘルプセンターでの検索には、製品、リリース、アクティビティ、オペレーティングシステム、およびその他のカテゴリによって結果を絞り込むための一連のフィルタ処理があります。

ビルド番号

バージョン	ビルド番号
12.7(5)	12.7.5.55797 ビルド 305797
12.7(4)	12.7.4.55432 ビルド 305432
12.7(3)	12.7.3.54811 ビルド 304811
12.7(2)	12.7.2.53984 ビルド 303984
12.7 (1)	12.7.1.51081
12.7	12.7.0.38632

セキュリティ アドバイザリ

最新のセキュリティアドバイザリについては、<https://tools.cisco.com/security/center/publicationListing.x> で確認できます。

リリース 12.7(5) の新機能

このメンテナンスリリースには、セキュリティアップデートと安定性の改善に関する内容が含まれています。詳細は問題を参照してください。

Webex ミーティングへの参加時のセキュリティの向上

セキュリティを向上させるために、JabberはWebex会議に参加するときに会議クライアントを起動するようになりました。

リリース 12.7(4) の新機能

このメンテナンスリリースには、セキュリティアップデートと安定性の改善に関する内容が含まれています。詳細は問題を参照してください。

リリース 12.7(3) の新機能

このメンテナンスリリースには、セキュリティアップデートと安定性の改善に関する内容が含まれています。詳細は問題を参照してください。

リリースの新機能 12.7(2)

このメンテナンスリリースにはセキュリティ更新が含まれています。詳細は問題を参照してください。

リリースの新機能 12.7(1)

解決済みの警告

このリリースでは、いくつかの既知の問題が修正されています。このリリースで修正された警告のリストについては、「リリース 12.7(1) の解決済みの警告」の項を参照してください。

リリースの新機能 12.7

ユーザエクスペリエンスの向上

現代的なデザイン

新しい最新の設計により、このリリースでのユーザの操作性が向上しました。最新の設計では、単一ウィンドウのUIが機能しています。Jabber デフォルトでは、すべての導入で最新の設計になっています。オンプレミスおよび Webex Messenger の導入環境のユーザは、従来の設計を使用することを選択できます。

Jabber チームのメッセージングモードでは、最新の設計ビューのみがサポートされています。ユーザは、Jabber チームメッセージングモードでクラシック設計を選択することはできません。

オンプレミスまたは Webex Messenger の導入をデフォルトにクラシック設計にする場合は、Uxmodelパラメータを使用してデフォルトを設定できます。使用可能な値は、**最新**(デフォルト)と**クラシック**です。各ユーザの設定は、このパラメータよりも優先されます。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータリファレンスガイド](#) [英語] を参照してください。

ユーザは、[**設定 (Settings >)**] アピアランスで好みの設計を選択して、自分のアプリケーションをカスタマイズすることもできます。

テーマ

Jabber アプリケーションのテーマが追加されました。使用可能なテーマは次のとおりです。

- デフォルト
- ダーク



注 このテーマのチャットテキストの色の変更はサポートされていません。

- 高コントラスト

ユーザは、[**設定 (Settings >)**] アピアランスを使用して使用可能なテーマを切り替えることができます。

Office 365 の移行のためのプロンプトの改善

管理者がユーザアカウントを Office 365 に移行すると、[チャットを Outlook に保存 (Save chat to Outlook)] を使用するユーザは、アカウントが移行されたことを示すメッセージを受信し、この機能を使用し続けるためにクレデンシャルを再送信するように求められます。

アクセシビリティの向上

クライアント全体で、次のようなアクセシビリティの改善が行われました。

- スクリーンリーダーのサポート
 - スクリーンリーダーのアクセシビリティ テキストが改善されました。
 - チャット履歴のキーボードナビゲーションが改善されました。
 - 制御ラベルを改善しました。
 - [情報 (information)] パネルでは、現在選択されている連絡先または通信相手の担当者がアナウンスされます。
 - 分離された会話のタイトルには、連絡先の名前が含まれます。
- 視覚的な改善
 - コントラストの高いテーマが追加されました。これにより、色のコントラストが向上し、より大きなフォントサイズがサポートされます。
- 新しいショートカット キー

- **Ctrl+Shift+M**: 画面共有ボタンにフォーカスを移動します。共有を停止するか、または別のアプリケーションを共有するかを選択できます。
- **Ctrl+Shift+N**: 通知メッセージへのアクセスを提供します。これにより、キーボードユーザは、コールに応答したり、コールを拒否したり、会議に参加したり、新しいロケーションを管理したりできます。

Extend & Connect のコール プログレス インジケータ

ユーザが Extend & Connect を使用して発信コールを発信すると、ダイヤル後すぐに通話ウィンドウが表示されるようになります。ユーザがモバイルデバイスで応答しない場合、コールは PSTN タイムアウト信号の受信後に終了します。

チャットルームは、参加者リストの可視性を維持する

オンプレミスおよび Webex Messenger の導入で、グループチャットとチャットルームの参加者リストの動作が変更されました。これで、あるチャットルームから別のチャットルームに切り替えると、参加者リストの可視性が維持されます。チャット A で参加者リストを開き、チャット B に切り替えると、チャット A に戻ったときに参加者リストが表示されます。

個人対個人チャットはこの方法では動作しません。

タブラベルの表示

デフォルトでは、リリース 12.6 では、クライアントはハブ ウィンドウにタブラベルを表示していませんでした。ユーザは、設定を使用してタブラベルを有効にすることができます。

タブを表示するためのデフォルトの動作を変更する場合は、新しい ShowTabLabel パラメータを使用します。各ユーザの設定は、このパラメータよりも優先されます。詳細については、[Cisco Jabber のパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

Jabber チームメッセージング モード

Cisco Webex Control Hub を介してクライアントを構成する

Jabber Team メッセージング モードは、Cisco Unified Communications Manager とその呼び出し機能を必要としない IM 専用モードで実行できます。Jabber 設定ファイルの展開サイトとして Unified CM を置き換えるために、Jabber 設定ファイルをコントロールハブにアップロードできます。組織ごとに 1 つの構成ファイルをアップロードできます。

サービスに移動してから、メッセージカードを選択して **設定** を選んでください。アップロード設定ファイルを選択します。このファイルは .xml 形式である必要があります。

コントロールハブと Unified CM の両方に Jabber 設定ファイルがある場合、Unified CM のパラメータの値が優先されます。

People Insights

People Insightsは、Jabber Team Message Mode ユーザーに連絡先の専門的プロフィールを提供します。連絡先カードが表示される場所であればどこでも、連絡先リスト、会話、通話履歴、Voice Mail 履歴からユーザーは People Insights にアクセスできます。

この機能は、プロフィールで公開されている情報と、同じ会社のユーザーに対する社内ディレクトリ情報のみを表示します。この内部ディレクトリ情報は、社外のユーザーには表示されません。ユーザーは自分のプロフィールを編集して、データを追加できます。詳細については、[People Insights とは](#) を参照してください。

People Insightsを有効にするには、コントロールハブに移動し、**[設定] > [ディレクトリ同期] および [People Insights]**を選択して、**[People Insightsの表示]** トグルをオンにします。

サイレント 設定

[サイレント]設定の間隔を 30 分、1 時間、2 時間、4 時間、8 時間、24 時間に変更しました。

非 Jabber アクティビティに基づくプレゼンス

以前のリリースでは、Jabber チームのメッセージングモードは、Jabber アプリでのアクティビティのみに基づいてユーザーの存在を報告していました。Jabberは、コンピューター全体のアクティビティに基づいてユーザーの存在を報告するようになりました。

コンテンツ管理設定(ECM)サポート

ECM ファイルを表示、送信 および受信できます。OneDrive または SharePoint Online から ECM ファイルをアップロードし、それらを表示する権限がある他の Jabber ユーザーにチャットで送信します。ユーザーは添付ファイルを送信するときに、コンピューターまたは ECM アカウントからファイルをアップロードすることを選択できます。ユーザーは、組織内の他のユーザー、またはファイルにアクセスできる特定のユーザーにファイルを送信することを選択できます。受信者が ECM 添付ファイル付きのメッセージを取得したら、ファイルを表示または開く前に、その ECM サービスにログインする必要があります。

詳細については、<https://help.webex.com/en-us/nfia8at/>

[Configure-Enterprise-Content-Management-Settings-in-Cisco-Webex-Control-Hub](#) および

<https://help.webex.com/en-us/nuvy9lb/Enterprise-Content-Management-in-Cisco-Webex-Control-Hub> を参照してください。

引用メッセージ

同じスペースで別のメッセージを引用することにより、メッセージにコンテキストを追加できます。メッセージを引用するには、引用するメッセージにカーソルを合わせて、**[メッセージの引用]**を選択します。メッセージを送信すると、引用されたメッセージがスペース内のメッセージの上に表示されます。

BOT サポート

BOT が検索結果に表示されるようになりました。BOT をスペースや既存の会話に追加し、BOT で新しいコンバージョンを作成できます。BOT を見つけるには、検索バーに移動し、名前の最

初の数文字を入力します。BOTは、連絡先とディレクトリの結果の下に、独自のカテゴリで表示されます。

Jabber Team Messaging Mode ユーザーは、Webex Platform Service の一部として展開されているBOTを検索して使用できます。これらのBOTはCisco Webex App Hubで見つけるか、ユーザー用に独自のBOTを開発できます。Cisco Jabber BOT SDK からのBOTは、オンプレミスおよびWebex Messenger 展開でのみ機能します。

プロキシ認証サポート

以前のリリースでは、プロキシ認証はサポートされていません。Jabberは、この表に概説されているプロキシ認証をサポートするようになりました。

製品	サポートされている認証タイプ	サポートされているプロキシ構成方法
Windows 版 Cisco Jabber	認証なし、基本、NTLM、ネゴシエート	マニュアル、PAC
Mac 版 Cisco Jabber	認証なし、基本、NTLM	マニュアル、PAC
VDI 版 Cisco Jabber Softphone	認証なし、基本、NTLM、ネゴシエート	マニュアル、PAC
<p>Mac での NTLM 認証では、コンピューターがドメインにサインインしていない場合、ユーザーはパスワードの入力を求められます。Windows または VDI 用の Jabber Softphone の場合、コンピューターはドメインにサインインする必要があります。</p> <p>認証なしの認証タイプの場合、プロキシアドレスを使用してコンピューターをセットアップできますが、認証は使用されません。</p>		

プロキシ自動構成 (PAC) ファイルの詳細については、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/security/web_security/connector/connector2972/PACAP.html を参照してください。

プロキシ認証、証明書

TLS 検査プロキシを展開する場合は、証明書の検証を成功させる信頼チェーンを使用して、デバイスの OS に CA 証明書をインストールします。

Jabber は、通信するシステムの証明書を検証します。Jabber は、他のシステムの OS にある信頼されたルート認証局のリストに対して TLS セッションの証明書を検証します。Jabber はまた、既知の悪意のあるまたは侵害された認証局に対して証明書をチェックします。

ミーティング

オンデマンド レコーディング

以前のリリースでは、Jabber のすべてのコールに対して録音を有効または無効にすることしかできませんでした。オンデマンド録音では、ユーザが Jabber の組み込みブリッジ (BiB) を使用してコールを選択的に録音できるようにするオプションが用意されています。この機能を有効

にすると、[コール制御 (call control)] メニューには、ユーザがいつでも録音を開始および停止するためのレコードオプションが含まれます。

この機能をサポートするためには、Cisco Unified Communications Manager リリース 12.5(1) が必要です。

オンデマンド録音の使用の詳細については、『[Feature Configuration For Cisco Jabber guide](#)』を参照してください。

Prefer_BiB_recorderパラメータを使用して、Jabber BiB ですべての録音を強制的に実行することができます。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

アプリケーション共有

コール、CMR 会議コール、またはCMS 会議コール中に画面を共有すると、画面全体を共有するのではなく、特定のアプリケーションに対して共有する内容を制限できます。ここで、[共有 (Share)] 画面から、共有するアプリケーションを選択するオプションが用意されています。

コラボレーション ミーティング ルーム コントロールの更新

このリリースには、いくつかの新しいCMR コントロールが含まれています。ホストは次のようになります。

- すべての参加者をミュートまたはミュート解除します。
- 会議の録画を一時停止して再開する

すべての参加者が次の操作を実行できます。

- ビデオの送信を開始または停止する
- ミーティング リンクのコピー
- 会議に関する詳細を表示するには、[ミーティング情報 (Meeting Info)] アイコンを使用します。

発信

ボイスメールの改善

デスクトップ クライアントのボイスメール機能が改善されました。

ユーザは、コールを発信せずにボイスメールを作成し、1つ以上の連絡先にボイスメールを送信できます。ボイスメールサーバの管理者は、ユーザがボイスメールを送信できる同報リストを作成することもできます。ユーザは、ボイスメールサーバのカタログから受信者を選択できます。

ユーザは、ボイスメールの送信者またはそのメッセージのすべての受信者に直接返信できます。ユーザは、ボイスメールを新しい受信者に転送することもできます。

単一回線の電話番号またはラベルを表示

複数行の操作では、ユーザは選択リスト内の設定済みの行を選択します。選択リストには、電話番号または各行のラベルが表示されます。以前のリリースでは、1つの回線しか持たないユーザには選択リストが表示されません。

これで、電話専用モードと電話機で連絡先を展開した電話モードでは、1つの回線の番号またはラベルがデフォルトで表示されます。UCモードのフル展開では、1つの回線の番号またはラベルがデフォルトで非表示になっています。

新しいSingleLinePhoneLabelパラメータを使用して、単一行操作のデフォルトの動作をオーバーライドできます。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

複数行の改善

以前のリリースでは、Jabberには次の複数行の制限があります。

- CTI 対応ユーザは、据え置き電話のプライマリ回線のみを制御できます。
- 異なるパーティションに関連付けられているものと同じ番号を持つ2つの回線を設定することはできません。

リリース12.7では、ユーザは据え置き電話のすべての回線を制御できます。異なるパーティションに関連付けられているものと同じ番号を持つ2つの回線を設定することはできません。

セキュリティ

セキュリティ ラベルの強化

インスタントメッセージの XEP-0258 標準に基づくセキュリティラベルのサポートを強化しました。InstantMessageLabelsパラメーターが<label>をサポートするようになりました。セキュリティラベルにさらにメタデータを割り当てることができます。Internet Control Message Protocol (ICMP) エコー応答のレート制限をテスト目的で停止する <label> Apache NiFi など、配信前にメッセージを選別するセキュリティ コンプライアンス サーバーを識別する要素。

InstandMessageLabels パラメータの詳細については、[Cisco Jabber のパラメータ リファレンス ガイド](#)を参照してください。この設定は、Unified CM Administration または jabber-config.xml 設定ファイルで構成できます。

展開でのセキュリティラベルの使用については、[Cisco Jabber の機能設定ガイド](#)を参照してください。

更新されたサインアウト動作

ユーザが Jabber からサインアウトする場合、次にサインインするときに再認証する必要があります。

次の場合、ユーザは再認証する必要はありません。

- 構成を変更するには、サインアウトする必要があります。

- Jabber アプリを強制終了し、再起動します。（デスクトップユーザーの場合、これには **[Jabber の終了]** を選択した場合も含まれます。）
- タッチ、指紋、または顔 ID が有効なモバイル Jabber ユーザー。

更新トークンの OAuth 処理

展開で OAuth を有効にしている場合、Jabber はデフォルトで、ユーザーがサインインするときに期限切れの更新トークンをチェックします。更新トークンの有効期限が切れた場合、ユーザーは再認証する必要があります。ユーザーがサインインしている間に更新トークンの有効期限が切れると、Jabber はセッションが期限切れになったというメッセージでログアウトします。

LegacyOAuthLogout パラメーターは、この動作を制御します。期限切れのリフレッシュトークンに対する **false** チェックのデフォルト値。値を **true** に設定すると、Jabber は期限切れの更新トークンをチェックしません。詳細については、[Cisco Jabber のパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

要件

Cisco Jabber 要件

多くの Cisco Jabber 要件は複数のクライアントタイプ間で共通です。クライアント固有の要件はリリースノートに文書化されていて、他のすべての要件は *Cisco Jabber* 用プランニングガイドに文書化されています。

Windows 版 Cisco Jabber のオペレーティング システム

次のオペレーティング システム上に Windows 版 Cisco Jabber をインストールできます。

- Microsoft Windows 10（デスクトップモード）
- Microsoft Windows 8.1（デスクトップモード）
- Microsoft Windows 8（デスクトップモード）
- Microsoft Windows 7

Windows 版 Cisco Jabber は、Microsoft .NET Framework または Java モジュールを必要としません。

Windows 10 のサービス オプション

Windows 版 Cisco Jabber は、Windows 10 の次のサービス オプションをサポートします。

- Current Branch (CB)
- Current Branch for Business (CBB)
- Long-Term Servicing Branch (LTSB) : このオプションでは、関連するサービスのアップデートが展開されていることを確認します。

Windows 10 のサービス オプションの詳細については、Microsoft の次のマニュアルを参照してください。 [https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt598226\(v=vs.85\).aspx](https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt598226(v=vs.85).aspx)



- (注) デフォルトで、Cisco Jabber は次のディレクトリに必要なファイルをインストールします。
- %temp%\Cisco Systems\Cisco Jabber-Bootstrap.properties ファイルおよび installation log
 - %LOCALAPPDATA%\Cisco\Unified Communications-Logs およびテレメトリー時データ
 - %APPDATA%\Cisco\Unified Communications-Cached 設定およびアカウント クレデンシヤル
 - x86 Windows 用の %ProgramFiles%\Cisco Systems\Cisco Jabber-Installation ファイル
 - x64 Windows 用の %ProgramFiles(x86)%\Cisco Systems\Cisco Jabber-Installation ファイル

デスクトップクライアントのハードウェア要件

要件	Windows 版 Cisco Jabber	Mac 版 Cisco Jabber
搭載されている RAM	2 GB RAM	2 GB RAM
物理メモリの空き容量	128 MB	1 GB
ディスクの空き容量	256 MB	300 MB
CPU の速度およびタイプ	AMD モバイル Sempron プロセッサ 3600+ (2 GHz) Intel Core 2 Duo プロセッサ T7400 @ 2 (16 GHz)	Intel Core 2 Duo もしくはそれ以降の次のいずれの Apple ハードウェアのプロセッサ <ul style="list-style-type: none"> • iMac Pro • MacBook Pro (Retina Display モデルを含む) • MacBook • MacBook Air • iMac • Mac Mini
GPU	Microsoft Windows 7 上の DirectX11	該当なし
I/O ポート	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

CTI でサポートされるデバイス

ユニファイドコミュニケーションマネージャで、コンピュータテレフォニーインテグレーション (CTI) でサポートされているデバイスのリストを表示するには、次のようにします。

1. シスコのユニファイド レポーティングページから、[システム レポート (System Reports)] メニューから [Unified CM 電話機能リスト (ユニファイ CM Phone Feature List)] を選択します。
2. レポートを開いた後、[機能] ドロップダウンリストから [CTI制御(CTI controlled)] を選択します。

制限事項と制約事項

すべてのデプロイメントでの制限事項と制約事項

Unified Communications Manager 12.5 (1) SU2 を使用した LDAP ログイン情報配信

ユニファイドコミュニケーションマネージャリリース 12.5 (1) SU2 では、暗号化された LDAP ログイン情報をサービスプロファイルに安全に渡すためのサポートが追加されています。この更新プログラムは、常に暗号化された形式でパスワードを保存し、送信することによって、ディレクトリへのアクセスを保護します。この変更には、ディレクトリアクセス認証、クライアント構成ファイルのダウンロード、BAT インポート/エクスポート、アップグレード時の暗号化が含まれています。

この統一された CM リリース以降の Jabber 12.8 では、エンドユーザ認証の後、ユーザプロファイルの一部として LDAP 資格をダウンロードすることによってこの機能を利用します。

Jabber 12.7 およびそれ以前のこの統一された CM リリース以降では、これらの資格情報をサービスプロファイルから使用することはできません。これらは、暗号化されたパスワードを Active Directory に渡し、それによって接続の障害が発生します。アップグレード済みの Unified CM を使用した Jabber リリースでは、ここに記載されているように jabber-config.XML ファイルを使用して LDAP ログイン情報を指定します。

詳細については、『Cisco Jabber の計画ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager and Presence Service 12.5 (1) SU2」のリリースノート参照して、LDAP サービスのアカウントに関するセクションを参照してください。

エクステンション モビリティを使用したデバイス名

エクステンション・モビリティが有効な場合、Jabberの管理対象デバイス・メニューには、電話タイプとユーザー名ではなく、電話タイプのみが表示される。

Cisco IP Communicator

Cisco IP Communicator は、ユーザがコールにデスクフォンを使用することを選択した場合、Jabber 上の制御対象デバイスとしてサポートされない。

マルチライン

スクリプトを使用した貼り付け操作の許可

Jabber バージョン 11.8.5 以降では、**Windows コンポーネント Internet Explorer > internet Control Panel > Security ページ > のインターネット ゾーン > で Internet Explorer に対して、スクリプトを使用したポリシーの貼り付け操作が有効になっている場合、コピーペーストで問題が発生する可能性があります。**

シングルナンバー リーチ

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよび Remote Access で Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングルナンバー リーチを有効にする必要があります。詳細については、*Cisco Jabber 12.0* の機能構成ガイドのシングルナンバー リーチの有効化のセクションで制限を参照してください。

サインイン時のボイスメール クレデンシャル ポップアップ

ハイブリッド展開の Webex Messenger、CallManager、Unity Connection のすべてで SSO が有効化され、ボイスメール資格情報をクラウドに保存済みの場合、サインインプロセス中に、ユーザにボイスメールの [資格情報の更新 (Update Credentials)] ポップアップが表示されます。これを回避するには、ボイスメールサーバアドレスをクラウドサーバで設定せずに、サービスプロファイルまたは jabber-config.xml ファイルでのみ設定する。

IBM Notes の連絡先検索

BM Notes の連絡先を検索するとき、検索文字の 1 つ目に「」または「\」を入力すると、正しい連絡先を見つけることができません。

Real-Time Transport Control Protocol (RTCP)

Jabber は、無効になっていても RTCP パケットを送信します。RTCP は Jabber テレフォニーサービスの統合コンポーネントです。

Office 365 で outlook がチャット保存機能

デスクトップクライアント用 Cisco Jabber に適用されます。

Outlook を使用する **チャットを保存** Office 365 ユーザーで機能がシングルサインオン (SSO) 展開と早口での資格情報を手動で入力する必要があります。

画像をコピーできない

Jabber の会話で画像を右クリックして [コピー] を選択することはできません。イメージを強調表示し、右クリックしてコピーしてください。

Microsoft Outlook OST ファイル

断続的に Windows の Cisco Jabber は Microsoft Outlook OST ファイルにアクセスできません。この問題を解決するには、Jabber を再起動し、Outlook を再起動します。

プロキシの自動検出 (WPAD) の設定

Cisco Jabber は、Web プロキシ自動発見 (WPAD) プロキシ検出をサポートしていません。Cisco Jabber のプロキシ設定を構成する方法については、『Cisco Jabber のオンプレミス展開ガイド』の「プロキシ設定の構成」を参照してください。

着信転送

第三者への呼び出しを転送する場合は、転送を完了する前にサードパーティが呼び出しに対応する必要があります。現在、サードパーティをダイヤルし、(ブラインド転送とも呼ばれます) に接続への呼び出しを待っている間最初のパーティーを接続できません。

リリース 12.7(1) より前は、Cisco Jabber は、転送中のコールが保留中であることを、ユニファイドコミュニケーションマネージャーに正しく通知しません。この現象が発生すると、Jabber を Cisco Finesse と共に使用した場合に、誤ったレポートが生成されます。

チャット返信とボイスメール プロファイルなし

ユーザーに構成されているボイスメールプロファイルがない場合は、チャット返信機能が動作しません。ユーザーが選択した場合 **チャット返信** 着信呼び出し続けてリングと **チャット返信** との**答え** オプションがグレーになります。CSCux75667 では、この制限を文書化していません。

Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアント

Windows 版 Cisco Jabber は、Cisco AnyConnect セキュリティで保護されたモビリティ クライアント バージョン 4.0 以降をサポートしています。CSCuy14721 では、この制限を文書化していません。

Cisco Unity Connection ディスパッチ メッセージ

Cisco Unity Connection でディスパッチ メッセージの配布リストにメッセージと共に送信、このような方法で構成されている 1 つだけユーザーがそのメッセージに応答します。ユーザは承諾、拒否、またはディスパッチメッセージを延期することができます。Windows 版 Cisco Jabber は、Cisco Unity Connection ディスパッチ メッセージをサポートしていません。CSCuw31908 では、この制限を文書化していません。

連絡先のグループへのメール

連絡先グループに電子メールを送信する際に、[宛先 (To)] フィールドに 2083 文字の制限があります。電子メールアドレスが長い場合や、受信者数が多い場合は、すべての連絡先が電子メールに追加されるとは限りません。2083 文字の制限の詳細については、

<https://support.microsoft.com/en-ie/kb/208427> を参照してください。

場所の機能、複数ドメインのサポート

ここで次のような導入シナリオを検討します。

Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service のノードを展開すると、すべてのユーザーが単一ドメインのサポートにインポートされました。後でアドレススキームをディレクトリ URI (複数ドメイン対応) に変更しました。

ロケーション機能は、新しく追加されたドメインユーザーに対しては機能しません。最初のドメイン内のユーザーは影響を受けません。CSCUu63734 では、この制限を文書化しています。

ロジクール キーボード表示の変更

Logicool UC キーボード K725-C の内蔵ディスプレイには、着信コールの発信者またはデバイスの情報は表示されません。代わりに、シスコ ロゴが表示されます。

Microsoft Outlook のローカル連絡先とプレゼンス

連絡先が Microsoft Outlook 2010 と 2013、SMTP の電子メールアドレスの種類をローカル (カスタム) の連絡先に連絡先を追加するときの連絡先に手動で追加した場合、ユーザーのプレゼンスは不明です。この問題を解決するには、連絡先を削除して手動で追加し直し、メールアドレスの種類が Exchange (EX) であることを確認します。CSCUo57172 では、この制限を文書化しています。

Microsoft Lync 電話モード展開

Microsoft Lync と同じコンピューターで電話モードで Windows 版 Cisco Jabber を展開する場合、クリック-x の機能を無効にします。参照してください、共通インストール引数 のセクション、展開ガイド CLICK2X インストーラー スイッチの詳細について。

Plantronics 製アクセサリおよびソフトウェア

通話管理、Jabber は、Cisco のプラントロニクス アクセサリを使用してインストール、プラントロニクスのハブがあれば確実に少なくともバージョン 3.5 がインストールされます。プラントロニクスのウェブサイトからプラントロニクス ハブ 3.5 をダウンロードします。

モバイルおよび Remote Access を介したリモート デスクトップ制御

モバイルおよび Remote Access を介したリモート デスクトップ制御はサポートされていません。この制限については、CSCuz19139 を参照してください。

SAML シングル サインオンの制約

Cisco Unified Communications Manager サーバで SAML SSO を設定する場合、IP アドレスの代わりに完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用して、サーバ名を定義します。IP アドレスを使用する場合、クライアントは証明書が無効であることを示す警告メッセージを表示します。FQDN を使用するための要件は、埋め込み Internet Explorer ブラウザーがサブジェクト代替名 (SAN) 証明書の IP アドレスを検証できないためです。

同じ理由で、Cisco Unity ConnectionサーバでSAML SSOを設定する場合、サーバ名を定義するために、IPアドレスの代わりにCisco Unified Communications Manager Service プロファイルで完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用します。IPアドレスを使用する場合、クライアントは証明書が無効であることを示す警告メッセージを表示します。

認証情報の空白文字

空白文字および認証情報には、次のルールが適用されます。

- ユーザー名は、社内の展開内のスペースを含めることができます。
- ユーザー名は、クラウドベースの展開にスペースを含めることはできません。
- パスワードは、すべての展開シナリオではスペースを含めることはできません。
- オンプレミス展開のユーザー名の最初と最後の文字はスペースにしないでください。このルールは、ディレクトリソースから同期のユーザー名もです。

Standard CTI Secure Connection ユーザーグループ

Windows 版 Cisco Jabber では、現在、Transport Layer Security (TLS) 経由での CTI 接続をサポートしていません。そのため、Windows 版 Cisco Jabber ユーザーは、Standard CTI Secure Connection ユーザーグループに属するときに、CSF デバイスからデスクフォンに切り替えられなくなります。この制約については、CSCux83786 を参照してください。

.TIFF イメージは未対応

このリリースでは、ユーザーがアバターとして.tiff画像を持っている場合、Jabberは代わりにデフォルトのアイコン画像を表示します。個人アバターを使用するには、ユーザーは、jpg、bmp または png 形式などサポートされている形式で画像をアップロードする必要があります。

クリック-X 機能を Microsoft Outlook の連絡先で使用する

UDS をディレクトリソースとして使用する場合、ユーザーは、Click-To-Call や Click-To-IM などのClick-To-X 機能のみを使用して、既にキャッシュファイルにある Microsoft Outlook ユーザーに連絡できます。ユーザーの Cisco Jabber 連絡先リストに含まれているか、ユーザーが以前に検索、IM、呼び出しを行ったり、音声メッセージを残したりして作成した Cisco Jabber 履歴がある場合、キャッシュファイルが作成されます。

Cisco Jabber のユーザー ID /電子メールアドレスでサポートされている文字

次の文字は、Cisco Jabber ユーザー ID/メールアドレスでサポートされます。

- 大文字 (A ~ Z)
- 小文字 (a ~ z)
- 数字 (0 ~ 9)
- ピリオド (.)

- ハイフン (-)
- アンダースコア (_)
- チルダ (~)

エクステンション モビリティ

Jabber は、クラスタ間の Cisco エクステンション モビリティ (EMCC) 機能をサポートしていません。

制限事項と社内展開の制限

フェデレーテッドの連絡先の追加

フェデレーションの連絡先を追加する場合、ユーザーは、フェデレーションの連絡先をカスタム連絡先としてではなく、会社の連絡先 (**File > New > Contact**) として追加することをお勧めします。フェデレーションの連絡先をカスタム連絡先として追加すると、断続的なプレゼンスの問題が発生する可能性があります。この問題については、CSCuz59060 を参照してください。

内のユーザーのデバイスの構成の作成お Cisco Unified Communications Manager— 11.0

Cisco Unified Communications Manager 11.0 でユーザのデバイスを作成している場合、キーの順序を、**RSA のみ**、**EC のみ**、または **EC 優先で RSA バックアップ** に指定できるようになっています。しかし、**EC のみ** オプションは Cisco Jabber で現在サポートされていないため、それを選択すると、クライアントがサーバーへの接続に失敗します。

複数リソースのログイン

ユーザーがクライアントの複数のインスタンスに同時にサインインすると、チャット機能はオンプレミス展開で次のように動作します（一般的な展開シナリオでの複数リソースログインの詳細）。

- あるクライアントでサインインすると、他のクライアントでカスタムの可用性状態が「使用可能」に変わります。
- 通話中にアベイラビリティ状態を「通話中」から別の状態に設定した場合、アベイラビリティ状態は、以降の通話の「通話中」に自動的に変更されません。

電話プレゼンス用の SIP トランク

リリース 11.5(3) から Cisco Jabber ユーザー電話の存在を確認する場合、Cisco Unified Communications Manager—、IM とプレゼンス サービス間の SIP トランクを構成する必要があります。以前のリリースでは、SIP トランクは電話の存在に必要ではありません。この制限については、CSCuz85578 を参照してください。

制限事項とクラウド展開の制限

エンタープライズグループのユーザのブロック

ユーザーをブロックを妨げないブロックされたユーザーのステータス場合は企業グループの一員としてブロックされたユーザーが連絡先リストに表示されているから。たとえば、ユーザー A がユーザー B をブロックします。ただし、ユーザー A がユーザー B の連絡先リスト企業グループの一員として。その結果、ユーザ B はユーザ A のアベイラビリティステータスを表示できます。

インスタント Webex 会議の招待者

インスタント Webex 会議への招待者は、インスタント Webex 会議に参加する前に、Webex アカウントでプロビジョニングする必要があります。たとえば、ユーザー A は、Webex アカウントを持っていて、Jabber は、シスコからインスタントの Webex 会議を開始します。使用 A は、Webex アカウントを持っていないユーザー B を会議に招待します。ユーザー B は、Cisco Jabber の会議リンクをクリックすると、エラーメッセージが表示され、ユーザーがミーティングに参加できません。ユーザー B は、インスタントの Webex ミーティングに参加する前に、Webex アカウントでプロビジョニングする必要があります。この制約については、CSCux52068 を参照してください。

Jabber 間通話

早口早口に呼び出し元の機能を使用して 10 以上 Internet Explorer を実行をお勧めします。Internet Explorer の以前のバージョンまたは Internet Explorer 互換モードでこの機能を使用してシスコ Jabber クライアント ログイン (非 SSO セットアップ) や Jabber する Jabber 呼び出し機能 (SSO セットアップ) で問題が発生することができます。

共通アイデンティティ ユーザ

Cisco Jabber に共通 Id に移行しているいくつかのユーザーの署名に関する既知の問題があります。ユーザ名とパスワードの入力時に、不正なユーザ名またはパスワードという旨のエラーメッセージが表示される場合、以下のナレッジベースの項目を参照してください。

<https://help.webex.com/en-us/yhq7pw/Reset-Forgotten-Password-in-Cisco-Jabber>

パフォーマンスと動作に関するメモ

Sharepoint 2016 のプレゼンス インジケータ

Jabber をログアウトすると、プレゼンス インジケータ アイコンがグレーアウトされ、Jabber に再度ログインした後に更新されない。

この現象は、Web ページを更新することで解消できます。これによって、正確なプレゼンス情報が表示されることを確認します。

サイレント (DND)

Jabberがデスクフォンを制御してはならない場合、サイレント (DND) がデスクフォンに設定されていると、Jabber クライアントのプレゼンス ステータスは変更されません。

この現象は、Jabber クライアントが設計どおりに機能していることを示します。ユーザの操作は必要ありません。

Jabber 間通話と Symantec ホスト IDS (HIDS)

Jabber 間通話は、Symantec HIDS のエラーをトリガーできます。

Symantec HIDS は、同じインターネットベースのサーバから 200 秒以内に 5 回の接続要求を受信した場合、インターネットベースのサーバからの接続を無効にします。たとえば、200 秒以内に 3 回の Jabber 間通話が Symantec HIDS をトリガーします。このとき、進行中の Jabber 間通話が削除され、600 秒の Jabber 間通話は無効になります。

このシナリオを回避するには、Cisco Jabber を Symantec 例外リストに追加する必要があります。この現象については、CSCuw32007 を参照してください。

HTML サニタイズコード

Jabber HTML サニタイズコードは、フィッシング攻撃の潜在的な乱用に対するため、XMPP メッセージペイロードの「マスクされた」リンクを許可しないように変更されています。セキュリティ上の理由から、これらのリンクは許可されなくなりました。

Jabber の管理者が、この機能拡張によって影響を受ける可能性のある潜在的なユーザを教育するようお勧めします。

会議のリマインダ

Cisco Jabber は、Cisco Webex Meetings のみのポップアップリマインダを表示します。Cisco Webex Meetings のリマインダは表示されません。

Webex ミーティングの URL を変更した場合（たとえば、URL をフィルタするソフトウェアで）、ミーティングアラームまたは[ミーティング]タブから会議に参加しようとしても失敗します。この現象については、CSCux03658 を参照してください。

電話専用モードで会議のスケジュールボタンを無効にする

Outlook がインストールされ、Maccalendarintegration typeパラメータが outlook に設定されている場合、[ミーティングのスケジュール (Schedule Meeting)] ボタンが表示されます。ただし、電話専用モードでは、ボタンは表示されません。

電話会議中の参加者の削除

ユーザは、非VDI展開でソフトフォン (CSF) デバイスを使用して通話する場合のみ、電話会議から参加者を削除できます。デスクフォン制御モードまたは拡張を使用して接続している場合は、電話会議から参加者を削除できません。

ビデオ コール

[ビデオの開始 (Start My Video)] ボタンは、コール接続後すぐに動作しません。ユーザは通話を開始してから約6秒間を待ってから、[ビデオの開始 (Start My Video)] ボタンをクリックする必要があります。この現象については、CSCuz06415 を参照してください。

エンタープライズ グループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に1つずつ解決します。結果として、エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに加える際—または、ローカル キャッシュを消去する場合—その上をホバーするか、または相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。

不具合

警告では予期しない動作について説明します。次の各項では、最新情報の取得方法について説明します。

バグの重大度レベル

既知の不具合またはバグには、不具合の優先度を示す重大度レベルが設定されています。これらのリリース ノートには次のバグ タイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重大度レベル 3 の重要なバグ
- 重大度レベル 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべてのバグ

重要度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策はあります。 ドキュメンテーションバグの最も高いレベル。
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。

重要度	説明
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

手順

-
- ステップ 1** バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search> をクリックします。
- ステップ 2** 自分の Cisco.com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
- ステップ 3** 特定の問題の情報を検索するには、[検索 (Search for)] フィールドにバグ ID 番号を入力して Enter を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
- 詳細については、バグ検索ページの右上にある [ヘルプ (Help)] をクリックしてください。
-

12.7(4) で未解決の問題

識別子	重大度	見出し
CSCvm76932	2	Jabber for Windows 12.1.0/12.1.1 が setEnableInAMeetingStatus の更新を CUCM に送信しません。
CSCvj26171	3	Windows 10 の検索ボックスに Unicode 文字を入力すると結果に無効なデータが表示される。
CSCvn17374	3	Jabber が https リクエストを loginp.webexconnect.com IDP に送信します。
CSCvm44162	3	Jabber は、Cisco Unity Connection から 403 エラー レスポンスの取得中に再接続を試みます。
CSCvm76042	3	jabber-config.xml ファイルでプロビジョニングされていない場合でも、Jabber に [P チャット (Pchat)] タブが表示されます。
CSCvj58896	3	Jabber は、転送後も SRTP ストリームのロールオーバー カウンタと SRTP ストリームの SRC を保持します。
CSCvj58894	3	Jabber は、保留または再開後、SRTP ストリームのロールオーバー カウンタと SRTP ストリームの SRC を保持します。
CSCvi49056	3	検索フィルタが正確でないため、ディレクトリ検索に 5 秒かかります。
CSCvm83363	3	リダイレクトされた Expressway クラスタに最初にログインすると、失敗します。

識別子	重大度	見出し
CSCve40856	3	MRA 経由のコール (BFCP) 時に、[デスクトップの共有 (Desktop share)] ボタンがグレー表示になります。
CSCvk79498	3	HubWindowPlugin!TabButtonItem::CalculateImageSize で Jabber がクラッシュします。
CSCvn36100	3	Windows 版 Jabber の自動更新が電話モードで失敗します。
CSCvn59476	3	ピアツーピア ファイル転送では、Blank Chat IM セッション Jabber-Windows が発生します。
CSCvm85272	3	Jabber の [すべてのルーム (All Rooms)] タブには Jabber-windows がロードされません。
CSCvm84307	3	Jabber が Jabber-Windows で起動されると、常に MSVCR120.dll のエラーポップアップが表示されなくなります。
CSCvm5498	3	Jabber-Windows でオーディオ ダッキングを有効化するとき Jabber がスタックします。
CSCvk23475	3	OpenSSL 2018 年 1 月の Jabber-Windows 用 Jabber-Windows の評価。
CSCvh29610	3	前面カメラと背面カメラの Surface を切り替え、メモリ リークが一定時間ごとに Jabber-Windows で検出されます。
CSCvk48738	4	IM&P を使用した Windows 版 Jabber のユーザ認証がタイムアウトしません。

12.7(4) の解決済みの問題

識別子	重大度	見出し
CSCvw96073	1	Windows 版 Cisco Jabber の任意のプログラム実行の脆弱性
CSCvw96075	3	Windows 版 Cisco Jabber の情報漏えいの脆弱性
CSCvw96079	3	Windows 版 Cisco Jabber のサービス妨害 (DoS) の脆弱性
CSCvx43270	2	証明書の解析時の Null 文字の不適切な処理
CSCvx36438	3	CEF ネットワーク制限のバイパス
CSCvx36433	3	Jabber クライアント ロボット メッセージ クロスサイト スクリプティング
CSCvx36425	2	window.open による任意のコマンドの実行

12.7(3) で未解決の問題

識別子	重大度	見出し
CSCvr42648	2	自動ミュート機能は Windows の Jabber では機能しない

識別子	重大度	見出し
CSCva93690	3	「Exchange の資格情報が無効です」 (O365 へチャットを保存する場合)
CSCvm82709	3	Jabber "接続ステータスを表示'は CUCM を使用しません
CSCvp28473	3	Jabber は、ウィスパー アナウンスメント (UCCE 機能) で初期音声の 300 ミリ秒を再生しない
CSCvq11501	3	Windows J4W の Jabber は、MRA を介したフェールオーバー シナリオでアクセス トークンを更新しません。
CSCvr00981	3	VPN 接続が変更された場合、JabberWin - Softphone が再登録されません
CSCvr04041	3	[画面の共有 (Share screen & take control)] オプション: 共有を終了した後、ユーザは英語以外を入力することはできません。
CSCvr12341	3	Jabber 12.6 の顔文字ウィンドウはチャットウィンドウの背後に表示されるか、あるいはVDI 環境でまったく開かない
CSCvr25302	3	ディレクトリグループを追加した直後に、連絡先の写真が表示されない
CSCvr75200	3	ユーザがサインアウトしてからサインインするまで、通話履歴の連絡先が表示されない
CSCvr76764	3	Jabber は sip-oauth 接続の証明書を信頼していません
CSCvr82552	3	Windows 版 Cisco Jabber の [連絡先 (contacts)] タブから画面を共有することはできない
CSCvr82874	3	ユーザ ID が [再招待] で変更された場合、Jabber は BFCP を認証できない
CSCvr86141	3	外部スケールモニタへのチャットウィンドウの移動時に Jabber エラー "Jabber が動作しなくなりました"
CSCvr87501	3	Windows 版 Cisco Jabber 上のプレゼンスステータスを含む競合状態
CSCvr88725	3	Jabber 12.7.0 通知が断続的に表示されない

12.7(3) の解決済みの問題

識別子	重大度	見出し
CSCvv88490	1	RCE 向け Cisco Jabber 相互サイトスクリプト

識別子	重大度	見出し
CSCVv88491	3	Cisco Jabber パスワードハッシュの窃盗情報の漏えい
CSCVv88492	2	Cisco Jabber のカスタム プロトコル プロパティ コマンド インジェクション
CSCVw38030	1	Jabber クライアントのハイパーリンク置き換えによって処理されない空のタグで XSS が作成
CSCVw39218	3	Jabber クライアントのクリックジャック
CSCVw39231	3	ファイルをダウンロードして開くことができる Jabber クライアント Javascript の機能を確認する必要はありません

リリース 12.7(2) で解決済みの問題

識別子	重大度	見出し
CSCVv71173	2	Windows 版 Cisco Jabber メッセージを使用して、任意のコード実行の脆弱性を処理
CSCVv71180	2	を細工されたチャットメッセージを介した Jabber センシティブデータの漏えい
CSCVv71188	2	悪意のあるリンクによる Jabber センシティブデータの漏えい
CSCVv96368	2	Windows 版 Cisco Jabber プロトコル ハンドラ コマンド インジェクションの脆弱性

リリース 12.7(1) で未解決の問題

識別子	重大度	見出し
CSCVr42648	2	自動ミュート機能は Windows の Jabber では機能しない
CSCVa93690	3	「Exchange の資格情報が無効です」(O365 へチャットを保存する場合)
CSCVm82709	3	Jabber "接続ステータスを表示'は CUCM を使用しません
CSCVp28473	3	Jabber は、ウィスパー アナウンスメント (UCCE 機能) で初期音声の 300 ミリ秒を再生しない
CSCVq11501	3	Windows J4W の Jabber は、MRA を介したフェールオーバー シナリオでアクセス トークンを更新しません。
CSCVr00981	3	VPN 接続が変更された場合、JabberWin - Softphone が再登録されません

識別子	重大度	見出し
CSCvr04041	3	[画面の共有 (Share screen & take control)] オプション: 共有を終了した後、ユーザは英語以外を入力することはできません。
CSCvr12341	3	Jabber 12.6 の顔文字ウィンドウはチャットウィンドウの背後に表示されるか、あるいはVDI 環境でまったく開かない
CSCvr25302	3	ディレクトリグループを追加した直後に、連絡先の写真が表示されない
CSCvr75200	3	ユーザがサインアウトしてからサインインするまで、通話履歴の連絡先が表示されない
CSCvr76764	3	Jabber は sip-oauth 接続の証明書を信頼していません
CSCvr82552	3	Windows 版 Cisco Jabber の [連絡先 (contacts)] タブから画面を共有することはできない
CSCvr82874	3	ユーザ ID が [再招待] で変更された場合、Jabber は BFCP を認証できない
CSCvr86141	3	外部スケールモニタへのチャットウィンドウの移動時に Jabber エラー "Jabber が動作しなくなりました"
CSCvr87501	3	Windows 版 Cisco Jabber 上のプレゼンスステータスを含む競合状態
CSCvr88725	3	Jabber 12.7.0 通知が断続的に表示されない

リリース 12.7 (1) で解決済みの問題

識別子	重大度	見出し
CSCvr31928	1	Jabber がキープアライブ要求で JSESSIONID/Cookie を送信しないため、ボイスメールが停止する
CSCvr47127	1	Jabber 12.7.0 により、巧妙なログイン失敗が発生しています
CSCvr12260	2	Jabber Windows 12.6.1 UDS 検索が UDS 検索応答でのモバイル/自宅の電話番号の検索に失敗します
CSCvr26715	2	Jabber での電子メール連絡先詳細にアポストロフィ文字 \"'\" が \"& #39\" と表示されている
CSCvr35285	2	Webex Customer Jabber は、ランダムソート 12 CUCM UDS サーバを実行し、電話機のサービスに関する問題をトリガーします。

識別子	重大度	見出し
CSCvr60384	2	Jabber が Outlook の一時的なプレゼンスを正しく消去しない
CSCvr78497	2	Jabberがランダムに電話サービスを失う
CSCvr89022	2	J4WCTIは、ネットワークを変更した後、再接続しません
CSCvr94513	2	Cisco Webex Control Hub のアップグレードプロファイルが Jabber クライアントに適用されない
CSCvq97257	3	ユーザに対して表示される誤った IM アドレスと、誤ったユーザによって表示された保存済みチャット
CSCvr02609	3	Pulse VPN を使用して有線イーサネットから wifi に切り替えた場合、電話機サービスに接続できない
CSCvr16971	3	Jabber Windows は、[チャット (chat)] タブで [文字を入力中] アイコンが、意図したようにペンまたは鉛筆として表示されません
CSCvr18004	3	Jabber は共有画面に自動的に切り替えません。
CSCvr23547	3	Jabber Clic2Call Firefox に関する問題
CSCvr25756	3	Cucm が一括検索をサポートしていない場合、Jabber は 400 エラーを処理する必要があります。
CSCvr27954	3	jabber ミーティングのスペリングエラー 'Tentaticve'
CSCvr36510	3	新しく作成した場所の詳細は、Windows 版 Cisco Jabber の濃色モードでは表示されません
CSCvr37192	3	エージェント回線がある Jabber for Windows - SIP 通知ダイアログ情報が正しくありません。
CSCvr38541	3	libexpat 不適切な解析によるサービス拒否の脆弱性
CSCvr41074	3	Windows PC のロックを解除すると Jabber Windows 12.7 がクラッシュする
CSCvr46303	3	ShowTabLabel キーが動作していません
CSCvr46492	3	Jabber Windows VideoからDX、8865、8945 などセキュアモードでビデオを取得しません。
CSCvr50146	3	Kpmlを使用しているときにJabber windows dtmf数字プレストーンが再生されない
CSCvr53811	3	Jabber 12.7 転送ボタンは強調表示されていません
CSCvr57224	3	チームモードでの Jabber アプリケーションのクラッシュ

識別子	重大度	見出し
CSCvr60593	3	ユーザが enter キーをクリックすると、メッセージは削除されません。
CSCvr60708	3	Jabber 12.6 X以降、FIPS モードで画像を送信するとクラッシュが発生します。
CSCvr66558	3	J4W の場所が VPN 経由で接続されている場合、認識されません
CSCvr66707	3	単一ウィンドウの UI 設定で、開いている会話オプションがないことに注意してください
CSCvr67084	3	CJW のハイコントラスト設定モードで、ユーザの情報 (i) アイコンが見つかりません。
CSCvr70692	3	Windows の JTMM 内で同じユーザ内で別のフラグメッセージに移動することはできません
CSCvr71711	3	Jabber 12.7 送信者がイメージファイルまたはスクリーンショットを送信すると、誤ったサムネイルが表示されることがある
CSCvr73994	3	Jabber for Windows 12.7 は、通話履歴での Wednesday を Vednesday と誤って綴ります
CSCvr74101	3	J4W 12.7.0: 非 ASCII 文字が [会議] タブに正しく表示されない
CSCvr76323	3	Jabber 12.7 チームモードが履歴からコールを試みたときにクラッシュする
CSCvr84060	3	不在着信履歴からの不明な発信者レコードをクリックすると jabber の windows クラッシュが呼び出される
CSCvr85921	3	Jabber for Windows 12.6.X および 12.7.0 は、ユーザが IM プロトコルハンドラーを呼び出そうとしたときにクラッシュする
CSCvr88003	3	Jabber for Windows 12.6.2 [Outlook] タブ [新しいセッション] ボタンはグレー/淡色表示され、クリックできない
CSCvr36509	4	OpenSSL パディング オラクル情報開示の脆弱性
CSCvr45704	5	Jabber 12.7 ヘブライ語ロケールカーソルが間違った場所である (RTL 言語)
CSCvq67717	6	Jabber ボイスメールサービスが機能拡張されるため、オーバーサブスクリプションが減少します。

リリース 12.7(1) の終了済の警告

識別子	重大度	見出し
CSCvq65042	3	JDV 4.1.8 msidriver の期限切れの証明書署名

リリース 12.7 で未解決の問題

識別子	重大度	見出し
CSCvr12260	2	Jabber Windows 12.6.1 UDS lookup の失敗
CSCvp28473	3	Jabber は、ウィスパー インアナウンスメント (UCCE 機能) で初期音声の 300 ミリ秒を再生しません。
CSCvq11501	3	Windows J4W の Jabber は、MRA を介したフェールオーバー シナリオでアクセス トークンを更新しません。
CSCvq65042	3	JDV 4.1.8 msidriver の期限切れの証明書署名
CSCvq97257	3	ユーザに対して表示される誤った IM アドレスと、誤ったユーザによって表示された保存済みチャット
CSCvr04041	3	[画面の共有 (Share screen & take control)] オプション: 共有を終了した後、ユーザは英語以外を入力することはできません。
CSCvr12034	3	強制承認コード (FAC) は、Jabber クライアントではサポートされていません。
CSCvr12341	3	JVDI 12.6 絵文字は、Jabber の背後に非常に頻繁に表示されるか、まったく開いていません。
CSCvr09198	6	BrowserEngineForCustomTab が IE に設定されている場合は、[カスタム (custom)] タブにアクセスできません。

リリース 12.7 で解決済みの問題

識別子	重大度	見出し
CSCvq85116	2	複数の文法エラーを検出すると、Jabber のスペルチェックが壊れます
CSCvr12348	2	履歴の保存ボタンが動作していません
CSCvn82915	3	Jabber が CPU 使用率が高くなり、MRA の接続時に SSL_read () でログ グループが発生します

識別子	重大度	見出し
CSCvp25412	3	Windows 版 Cisco Jabber の着信コール通知に [チャット (Chat)] ボタンがありません
CSCvp40099	3	RTL ロケールを使用した Windows の Jabber で会議ビデオを点滅させる
CSCvp40120	3	RTL ロケールを持つ Windows の Jabber での会議の参加者リストが表示されない
CSCvp42087	3	Windows 版 Cisco Jabber では、セルフビュー文字列の折りたたみは日本語にはローカライズされていません。
CSCvp64715	3	Webex Messenger サーバの移行後に Jabber がログインできません
CSCvq08500	3	回線 id が [コール (calls)] タブの未割り当ての電話番号に対して誤って表示されます
CSCvq18192	3	複数行ドロップダウンでは、ハイ コントラストモードでは表示されない行番号が表示されます。
CSCvq33250	3	ログイン関連のエラー通知は、ハイ コントラストモードでは表示されません。
CSCvq36974	3	ロケーション入力は、新しいロケーションの追加時には表示されません
CSCvq61400	3	通話履歴アイコンがハイ コントラストモードで表示されません
CSCvq90806	3	Jabber 12.x P2P ファイル転送と画面キャプチャが機能しません
CSCvr02221	3	Windows の Jabber が、Webex にコールするときに参加者リストを表示できません
CSCvr04172	3	録音が jabber で有効になっている場合の音声品質の問題
CSCvr04176	3	デスクフォンモードの Jabber 12.6 には、ハントパイロット名が表示されません。
CSCvr08269	3	Jabber が手動再ログインで設定の再取得時に UDS サーバーリストを変更する
CSCvs70284	3	Jabber 12.6 オーディオクラッキング

識別子	重大度	見出し
CSCvq93015	5	Jabber: ドイツ語の変換でエラーメッセージが表示に、スペルミスが発生しました。

